

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	こどもデイサービスこころ			
○保護者評価実施期間	令和6年11月20日 ~ 令和7年1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日 ~ 令和7年1月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月17日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ニーズに応じた個別支援計画の作成と支援内容の実施。	家族のニーズだけではなく、児童にも聞き取りをしながら、活動内容に反映させている。また、面談であがつた家族と児童のニーズを可能な限り反映させた個別支援計画の作成と支援を実施している。	中には難しいケースもあるが、スタッフ間で検討を行い、できないとしてもできるだけ可能な代替案を出し合い検討し、支援に活かしていく。
2	情報共有について保護者への説明等。	日々の申し送りを保護者と会う機会を大事にし分かりやすくできるだけ専門用語を使わずに、丁寧に説明を行うことを心がけている。	細かいことでも、学校での引継ぎの内容や、デイでの様子や児童の変化の気づきにも伝えられるように、職員間の情報の共有を図り保護者に伝えていく。
3	活動や様々な取り組みに対して、子供たちが楽しみながら実施できる内容を組み立てている。	子ども達に対して放課後等デイサービス計画にあったそれぞれの声掛けや支援を行い、スローステップで一つ一つクリアし成功体験ができるように支援している。活動内容も固定化されないようにスタッフ間で意見を出し合い決めている。	今後も保護者のニーズをしっかり汲み取り子供たちのことを考えて支援していく。子供たちとたくさんコミュニケーションをとり特性を細かく理解できるように努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子ども達との交流機会が不足している。	放課後児童クラブや児童館、地域の他の子ども達と活動する機会が、時間的に合わない。	土曜日や長期休暇を利用し、安全面に配慮して地域の子ども達と児童館や公園などで交流の機会を増やしていく。
2	保護者会が実施できていない。	コロナウイルス感染症を意識して行う機会が延びてしまった。	今後は保護者会の計画もたて、今年度内で実施できるようにしていきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名

こどもデイサービスこころ

公表日 令和7年3月1日

利用児童数 21名

回収数 16名

		チェック項目	はい 16	どちらとも いえない 3	いいえ 6	わからない 10	ご意見 室内、室外で遊べるので良い。	ご意見を踏まえた対応 活動スペースは十分な広さで、学習を行う場所と区別しています。
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16				あまり注意してみていないのでわかります。	職員の配置も法令に遵守して対応しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		3				貴重な物でトイレなどには手すりを設置していますが段差があります。必要に応じて児童にも声掛けをしています。室内は段差が少ない限りになっています。年齢や障害特性で分かりやすいようにイラストや文字にして配慮しています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		6				広々として良いです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		16				広々とした事業所なので、活動に合わせて対応しています。また、絵カードやイラスト表示で資格支援を活用しつつ、児童にわかりやすいようにしています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	15	1				個人個人の発達段階や感覚の特性、ニーズを職員が共通に理解し安心して過ごせる環境を整えるように努めています。活動内容には視覚的手書きを多く取り入れて理解しやすいよう工夫しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	2				当事業所の支援内容と支援プログラムは児童発達支援ガイドラインの、児童発達支援の内容に作成、実施しています。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	2			家ではスマホばかりで宿題をしないので、プリントがあってよい。	事前にできるだけ細かく聞き取りを行って個々の課題を整理分析しながら計画書を作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	3				発達支援、家族支援、地域支援の中より必要な内容を設定の上支援内容を設定しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1				ミーティングでの情報共有を行い、職員がいつでも個別支援計画を確認できるようしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1				個々や集団活動、室内外の活動プログラムを作成し、できるだけ参加しやすくなっています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	9	1			夏休みや土曜日などをを利用して地域の児童館や公園などで、他の学年のお供たちと交流の場を設けています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16				安心してサービスを受けられる。	契約時に重要事項説明書をもとに説明を行っています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					契約時には支援の内容等を含め、重要事項や契約書をもとに説明をしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2				保護者からの相談等、話し合いをする時間を設けています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16				送迎時に一日の様子を聞けるのと、電話で連絡があるので助かる。	送迎時にその日の様子を連絡ノートに記載したり、また保護者にも口頭で伝えたりして日頃から情報共有を図っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16				困った事はその都度聞ける。	日頃から相談しやすいようにコミュニケーションをとり、その都度対応しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					児童を中心とした視点を持ち、児童の最善の利益を優先することを日頃から大切にしています。また共感的な関わりの中で児童や保護者の方にも安心して過ごしていただけるよう今後も務めていきたいです。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	9	4		他の保護者は友達のみしか知らない。	まだ実施していませんが、今後保護者同士がかかわる場を設けて取り組んでいきたいです。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	3				申し入れがあった場合電話連絡や個別での面談などを迅速に対応するように心がけています。

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思われますか。	16					こまめに保護者にも伝えています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	2			毎月の活動報告の手紙と送迎の時に一日の様子を聞ける。	毎月、こころ新聞を発行しています。またホームページにおいてもブログを作成しています。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16				特に不満はない。	個人情報に関しての規定を定めており、外部に持ち出さないなど、職員行動規範として強く遵守しています。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	5			特に話題に上がらないのでわかりません。	定期的にマニュアルをもとに勉強会を行っています。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	8			特に話題に上がらないのでわかりません。	定期的に災害を想定し、訓練を行っています。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2				安全計画に基づいて、感染症やケガ、熱中症などについての注意喚起や事業所内での取り組みなどを毎月の事業所の新聞などで周知に努めています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	3				安全計画に基づいて、感染症やケガ、熱中症などについての注意喚起や事業所内での取り組みなどを毎月の事業所の新聞などで周知に努めています。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	13	3				児童が安心して楽しく過ごしていくような支援や運営に努めています。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	4			家でスマホをしたいようです。	児童が安心して楽しく過ごしていくような支援や運営に努めています。
	29 事業所の支援に満足していますか。	15	1			スマホばかりの日が少しでも減らせて、ありがとうございます。	こどもデイサービスこころの運営と支援に満足していただけるように職員一同資質の向上に努めています。

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		こどもデイサービスこころ			
		公表日 令和7年3月1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		活動スペースは十分な広さで、学習を行う場所と区別しています。	安心、安全な環境作りを心がけています。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		職員の配置も法令に遵守して対応しています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		賃貸物件でトイレなどには手すりを設置していますが段差があります。必要に応じて児童に声掛けをしています。室内は段差が少ない造りになっています。	過ごしやすい環境となるよう配慮の必要性に応じた対応を心がけています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		広々とした事業所なので、活動に合わせて対応しています。また絵カードやイラスト表示で視覚支援を活用しつつ、児童にわかりやすいようにしています。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		本人の気持ちの切り替えなどで個別に対応する場合には、必要に応じて別室(学習スペース)などを使用し対応しています。	パーテーションなども準備し、安心できるような環境作りに努めています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		その時に感じたことや報告したいことをすぐに伝え、また毎日職員間でミーティングを行い改善点を出し合っています。勤務時間が異なる職員も共有できるように定期的に研修などを実行しています。	継続してPDCAサイクルを心がけ、現状把握と課題の共有に努めています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日ごろから保護者の意向を把握できるように努めて、またガイドラインのアンケートを実施し業務改善へ取り組んでいます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日頃より職員ミーティングで意見交換を行い、検討や改善につなげています。	ミーティングでの意見交換を充実させ、業務の改善に継続して取り組んでいます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	第三者による外部評価はまだ行っていません。	今後の検討課題としてまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に職場内研修を行ったり、系列の事業所や、市主催の勉強会や研修、講演会などに参加しています。参加できない職員は動画視聴なども行っています。	継続して職員の質の向上に努めています。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページにて公表しています。	保護者の方が周知できるように努めます。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		事前にできるだけ細かく聞き取りを行って個々の課題を整理分析しながら計画書を作成しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援にかかる職員が共通理解を図るために、ミーティングを開催し、連絡ノートも活用しながら、時差勤務職員も情報の共有を図っています。	職員間の共通理解の拡充を図り、時差勤務の職員とも情報共有の機会も増やしていきます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		ミーティングでの情報共有を行い、職員がいつでも個別支援計画を確認できるようにしています。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたツールを使用しています。	継続して適応行動の状況を確認しています。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		発達支援、家族支援、地域支援の中より必要な内容を設定の上、支援内容を設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員全体で意見を出し合い、天候や季節、利用児の状況などを考慮したプログラム造りを行っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	個々や集団活動、室内外の活動プログラムを作成し、できるだけ参加しやすくしています。	児童一人ひとりの発達段階に応じたプログラムの立案に努めています。

供	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個々の特性や成長に応じて計画を作成したり、保護者の意見も聞きながら作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援前に毎日のミーティングで活動内容や役割を分担し、支援についての確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	終了後のミーティングでその日の支援内容や保護者からの引継ぎなどを行い、日誌などに記載しています。勤務時間が異なる職員には、翌日の開始前のミーティングで振り返りを行っています。	時差勤務の職員にも情報の共有を密にしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		その日に気づいた点を、連絡帳や個別日誌に支援内容などを記載しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的に見直しをしたり、支援内容に変更があった場合にもモニタリングを行って見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7		基本活動を意識して、また個々の発達段階に応じたへの課題に対して、活動を組み合わせて支援を行っています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		活動の中で自己選択する等の場面を設けながら支援してしまう。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者が参画しています。また、必要時には会議依頼を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		状況に応じて相談やアドバイスを受けたりして連携を取りながら支援しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		送迎時に担任の先生と情報交換を行ったりし、連絡調整を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		利用前には必ず、相談員や先生方、また保護者との話し合いの場を設けて、できるだけ多くの情報を聞くようにしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		該当する児童はいませんが、他事業所に移る際には情報を共有しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		相談員、行政機関、学校などと連携し、会議などを通して助言をもらったりしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	7		夏休みや土曜日などをを利用して地域の児童館や公園などで、他の学童の子供たちと交流の場を設けています。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	7		浦添市自立支援協議会の通所支援の構成員として参加し、関係機関との情報共有を行っています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時にその日の様子を連絡ノートに記載したり、また保護者にも口頭で伝えたりして日頃から情報共有を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	保護者からの相談等、話し合いをする時間を設けています。	時間帯の調整も図りながら課題として検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時には支援の内容等を含め、重要事項や契約書をもとに説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		利用児と保護者の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた支援計画を作成しています。また設定した目標に対して支援方針や支援内容の優先順位を踏まえて計画しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		契約時には支援の内容を含め、重要事項や契約書をもとに説明をしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		時頃から相談しやすいようにコミュニケーションをとり、その都度対応しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7	まだ実施していませんが、今後保護者同士がかかわれる場を設けて取り組んでいきたいです。	新年度は開催を予定しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情等があれば定められたマニュアルに沿って対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月、こころ新聞を発行しています。またホームページにおいてもブログを作成しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報に関しての規定を定めており、外部に持ち出さないなど、職員行動規範として強く遵守しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		こまめに保護者にも伝えています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	招待などはしていませんが、日頃から挨拶などのコミュニケーションをとるようにしています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		定期的にマニュアルをもとに勉強会を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的に災害を想定し、訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者からの情報をもとに状況の確認をとっています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	契約時には保護者から聞き取ったり必要に応じて、アレルギー検査や主治医からの意見書を提出してもらっています。	主治医からの指示があれば職員間で周知を図っていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画に基づいて、感染症やケガ、熱中症などについての注意喚起や事業所内での取り組みなどを毎月の新聞などで周知に努めています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		その都度事例があれば記載し、その日のミーティングで話し合いを行ったり、勉強会を行い気を付けるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的に勉強会等を行い、職員間で共通理解し意識を高めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		実施が必要な場合には、保護者にも丁寧に説明、同意をもらうようにして、個別支援計画書にも記載するようにしています。	

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	こどもデイサービスこころ			
○保護者評価実施期間	令和6年11月20日 ~ 令和7年1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日 ~ 令和7年1月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月17日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ニーズに応じた個別支援計画の作成と支援内容の実施。	家族のニーズだけではなく、児童にも聞き取りをしながら、活動内容に反映させている。また、面談であがった家族と児童のニーズを可能な限り反映させた個別支援計画の作成と支援を実施している。	中には難しいケースもあるが、スタッフ間で検討を行い、できないとしてもできるだけ可能な代替案を出し合い検討し、支援に活かしていく。
2	情報共有について保護者への説明等。	日々の申し送りを保護者と会う機会を大事にし分かりやすくできるだけ専門用語を使わずに、丁寧に説明を行うことを心がけている。	細かいことでも、学校での引継ぎの内容や、デイでの様子や児童の変化の気づきにも伝えられるように、職員間の情報の共有を図り保護者に伝えていく。
3	活動や様々な取り組みに対して、子供たちが楽しみながら実施できる内容を組み立てている。	子ども達に対して放課後等デイサービス計画にあったそれぞれの声掛けや支援を行い、スローステップで一つ一つクリアし成功体験ができるように支援している。活動内容も固定化されないようにスタッフ間で意見を出し合い決めている。	今後も保護者のニーズをしっかり汲み取り子供たちのことを考えて支援していく。子供たちとたくさんコミュニケーションをとり特性を細かく理解できるように努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子ども達との交流機会が不足している。	放課後児童クラブや児童館、地域の他の子ども達と活動する機会が、時間的に合わない。	土曜日や長期休暇を利用し、安全面に配慮して地域の子ども達と児童館や公園などで交流の機会を増やしていく。
2	保護者会が実施できていない。	コロナウイルス感染症を意識して行う機会が延びてしまった。	今後は保護者会の計画もたて、今年度内で実施できるようにしていきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名	こどもデイサービスごごろ	公表日	令和7年3月1日				
				利用児童数 1名	回収数 1名		
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					活動スペースは十分な広さで、学習を行う場所と区別しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1					職員の配置も法令に遵守して対応しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					貴重な物でトイレなどには手すりを設置していますが段差はあります。必要に応じて児童にも声掛けをしています。室内は段差がない造りになっていて、年齢や障害特性で分かりやすいようにイラストや文字にして配慮しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					広々とした事業所なので、活動に合わせて対応しています。また、給カードやイラスト表示で資格支援を活用しつつ、児
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		1				個人個人の発達段階や感覚の特性、ニーズを職員が共通に理解し安心して過ごせる環境を整えるように努めています。活動内容には感覚的手触りを多く取り入れて理解しやすいように工夫しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					当事業所の支援内容と支援プログラムは児童発達支援ガイドラインの、児童発達支援の内容に作成、実施しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					事前にできるだけ細かく聞き取りを行って個々の課題を整理分析しながら計画書を作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					発達支援、家族支援、地域支援の中より必要な内容を設定の上支援内容を設定しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					ミーティングでの情報共有を行い、職員がいつでも個別支援計画を確認できるようになります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					個々や集団活動、室内外の活動プログラムを作成し、できるだけ参加しやすくなっています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		1				夏休みや土曜日などをを利用して地域の児童館や公園などで、他の学童の子供たちと交流の場を設けています。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					契約時に重要事項説明書をもとに説明を行っています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					契約時には支援の内容等を含め、重要事項や契約書をもとに説明をしています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		1				保護者からの相談等、話し合いをする時間を設けています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができるだと思いますか。	1					送迎時にその日の様子を連絡ノートに記載したり、また保護者にも口頭で伝えたりして日頃から情報共有を図っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					日頃から相談しやすいようにコミュニケーションを取り、その都度対応しています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					児童を中心とした視点を持ち、児童の最善の利益を優先することを日々大切にしています。また共感的な関わりの中で児童や保護者の方にも安心して過ごしていかよう に今後も務めています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1			まだ実施していませんが、今後保護者同士がかわわれる場を設けて取り組んでいきたいです。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					申し入れがあった場合電話連絡や個別での面談などを迅速に対応するように心がけています。

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いませんか。	1				こまめに保護者にも伝えています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1				毎月、こころ新聞を発行しています。またホームページにおいてもブログを作成しています。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1				個人情報に関しての規定を定めており、外部に持ち出さないなど、職員行動規範として強く遵守しています。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1				定期的にマニュアルをもとに勉強会を行っています。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1				定期的に災害を想定し、訓練を行っています。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				安全計画に基づいて、感染症やケガ、熱中症などについての注意喚起や事業所内での取り組みなどを毎月の事業所の新聞などで周知に努めています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1				安全計画に基づいて、感染症やケガ、熱中症などについての注意喚起や事業所内での取り組みなどを毎月の事業所の新聞などで周知に努めています。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	1				児童が安心して楽しく過ごしていくけるような支援や運営に努めています。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	1				児童が安心して楽しく過ごしていくけるような支援や運営に努めています。
	29 事業所の支援に満足していますか。	1				こどもデイサービスこころの運営と支援に満足していただけるように職員一同資質の向上に努めています。

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	こどもデイサービスこころ
------	--------------

公表日 令和7年3月1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		活動スペースは十分な広さで、学習を行う場所と区別しています。	引き続き、安心、安全な環境づくりをこころがけていきます。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		職員の配置も法令に遵守して対応しています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		賃貸物件でトイレなどには手すりを設置していますが段差はあります。必要に応じて児童にも声掛けしています。室内は段差が少ない造りになっていて、年齢や障害特性で分かりやすいようにイラストや文字にして配慮しています。	継続してわかりやすく、過ごしやすい環境になるよう配慮した対応を心がけていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		広々とした事業所なので、活動に合わせて対応しています。また、絵カードやイラスト表示で視覚支援を活用しつつ、児童にわかりやすいようにしています。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		本人の気持ちの切り替えなどで個別に対応する場合には、必要に応じて別室(学習スペース)などを使用し対応しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		その時に感じたことや報告したいことをすぐに伝え、また毎日職員間でミーティングを行い改善点を出し合っています。勤務時間が異なる職員も共有できるように定期的に研修などを行っています。	継続してPDCAサイクルを心がけ現状の把握と課題の共有に努めています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日ごろから保護者の意向を把握できるように努めて、またガイドラインのアンケートを実施し業務改善へ取り組んでいます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日頃より、職員ミーティングで意見交換を行い、検討や改善につなげています。	ミーティングでの意見交換を充実させ、業務改善に継続して努めています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		第三者による外部評価はまだ行っていません。	今後の課題検討としています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に職場内研修を行ったり、系列の事業所や、市主催の勉強会や研修、講演会などに参加しています。参加できない職員は動画視聴なども行っています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページにて公表しています。	保護者の方に周知できるように努めています。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		事前にできるだけ細かく聞き取りを行って個々の課題を整理分析しながら計画書を作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援にかかる職員が共通理解を図るため、ミーティングを開催し、連絡支援ノートも活用しながら、時差出勤の職員も情報の共有を図っています。	職員間の共通理解の拡充を図り、時差勤務の職員とも情報共有の機会も増やしています。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		ミーティングでの情報共有を行い、職員がいつでも個別支援計画を確認できるようにしています。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			今後も継続して適応行動の状況を確認しています。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		発達支援、家族支援、地域支援の中より必要な内容を設定の上支援内容を設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員全体で意見を出し合い、天候や季節、利用児の状況などを考慮したプログラム造りをしています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	個々や集団活動、室内外の活動プログラムを作成し、できるだけ参加しやすくしています。	児童一人一人の発達段階に応じたプログラムの立案に努めています。

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		個々の特性や成長に応じて計画を作成したり、保護者の意見も聞きながら作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援前に毎日のミーティングで活動内容や役割を分担し、支援についての確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	終了後のミーティングでその日の支援内容や保護者からの引継ぎなどを行い、日誌などに記載しています。勤務時間が異なる職員には、翌日の開始前のミーティングで振り返りを行っています。	時差勤務の職員にも情報の共有を密にしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		その日に気づいた点を、連絡帳や個別日誌に支援内容などを記載しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的に見直しをしたり、支援内容に変更があった場合にもモニタリングを行って見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者が参画しています。また、必要時には会議依頼を行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		状況に応じて相談やアドバイスを受けたりして連携を取りながら支援しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		利用前には必ず、相談員や先生方、また保護者との話し合いの場を設けて、できるだけ多くの情報を聞くようにしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		保護者からの依頼や必要に応じて支援会議を行っています。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		相談員、行政機関、学校などと連携し、会議などを通じて助言をもらったりしています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		夏休みや土曜日などをを利用して地域の児童館や公園などで、他の学童の子供たちと交流の場を設けています。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時にその日の様子を連絡ノートに記載したり、また保護者にも口頭で伝えたりして日頃から情報共有を図っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	保護者からの相談等、話し合いをする時間を設けています。	時間帯の調整も図りながら、課題として検討していきます。
感	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に重要事項説明書をもとに説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		利用児と保護者の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた支援計画を作成しています。また設定した目標に対して支援方針や支援内容の優先順位を踏まえて計画しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		契約時には支援の内容等を含め、重要事項や契約書をもとに説明をしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		日頃から相談しやすいようにコミュニケーションをとり、その都度対応しています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	まだ実施していませんが、今後保護者同士がかかわる場を設けて取り組んでいきたいです。	新年度は開催を計画していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		申し入れがあった場合電話連絡や個別での面談などを迅速に対応するように心がけています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月、こころ新聞を発行しています。またホームページにおいてもブログを作成しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報に関する規定を定めており、外部に持ち出さないなど、職員行動規範として固く遵守しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		こまめに保護者にも伝えています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	招待などはしていませんが、日頃から挨拶などのコミュニケーションをとるようにしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		定期的にマニュアルをもとに勉強会を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的に災害を想定し、訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者からの情報をもとに状況の確認を取っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	契約時には保護者から聞き取ったり必要に応じて、アレルギー検査や主治医からの意見書を提出してもらっています。	主治医からの指示があれば、職員間での周知を図っていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画に基づいて、感染症やケガ、熱中症などについての注意喚起や事業所内での取り組みなどを毎月の事業所の新聞などで周知に努めています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		その都度事例があれば記載し、その日のミーティングで話し合いを行ったり、勉強会を行い気を付けるようにしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的に勉強会等を行い、職員間で共通理解し意識を高めています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		実施が必要な場合には、保護者にも丁寧に説明、同意をもらうようにして、個別支援計画書にも記載するようにしています。	